

# 日本共産党 姫路市会議員団

市会報告 2022年第4回定例会

議員団控室 姫路市安田4-1 TEL 221-2046 FAX 284-5890  
メール info@jcp-himeji.com

共産党姫路 検索



谷川  
まゆみ

谷川まゆみ 検索

ブログ f



苦瓜  
かずしげ

苦瓜かずしげ 検索

ブログ f



村原  
もりやす

村原もりやす 検索

f



## 日本共産党 11月議会の質問から

### 清元市長の統一協会に対する認識について

**村原議員:** 清元市長は記者会見で、「平和の団体が市役所の前を使用したこととは、趣旨に問題がないことを確認し許可しています」と答えています。多くの自治体では、お墨付きを与えるとして統一協会との関係を断つとしています。姫路市も今後一切関係を断つべきです。

**答弁:** 占有許可に関する本市の一般的な対応について述べたもので、政府は旧統一教会に対し質問権行使し調査を実施している。

**村原議員:** 新聞のアンケート回答で、清元市長の統一協会への認識は、「体質が変われば、関係を持っても悪いことではない」。そのまま理解すると、これから先、変わってくるようであれば問題ないということですか。

**答弁:** 市として、社会的に問題があると認知されている行為を、自治体が是認していると誤解されるような対応は、厳に慎むべきであると考えている。

### マイナンバーカードの強制取得はやめること

**村原議員:** 国民皆保険制度の健康保険証と任意取得のマイナンバーカードとの一体化を行えば、カードを持たない人の医療はどうなるのか。市民に十分な理解を得ることができない健康保険証との一体化をやめるよう、国に求めるべきです。

**答弁:** 国は持ちたくない方や、取得が困難な方に対しては、確実に保険診療を受けられるよう検討している。姫路市は混乱が起きないよう、周知・広報に取り組む。

### 事業者の生活を破壊する インボイス制度を中止せよ

**村原議員:** 免税事業者はインボイスが出せません。相手先から取引をやめるか、値引きを迫られます。企業と取引している個人事業主やフリーランス等も影響を受けます。インボイス制度の中止を国に求めるべきです。

**答弁:** 自治体は導入を推進していく立場にある。国も個人事業主等への負担軽減策について検討している。

**村原議員:** 総務省はインボイス登録事業者でないと入札に参加できないのは「適当ではない」と自治体や各省庁に周知しています。通知どおり排除すべきではないです。

**答弁:** 総務省からの通知の趣旨に基づき業務を行う。

### 企業利益のために自治体が保有する

### 膨大な情報をオープンデータ化するための条例等に反対

先ず、議案第104号：姫路市個人情報の保護に関する施行条例について、議案第105号：姫路市情報公開・個人情報保護審査会条例、及び議案第112号：姫路市情報公開条例の一部を改正する条例について反対しました。

これらの議案は、いずれも2021年5月に成立したデジタル関連法によって、地方自治体が持っている個人情報保護条例等を廃止して、改定された個人情報保護法の全国的な共通ルールの下に、新たに一元化する



苦瓜  
かずしげ

苦瓜かずしげ 検索

ブログ f



村原  
もりやす

村原もりやす 検索

f

### 核兵器のない世界の実現を

**谷川議員:** ロシアによるウクライナ侵略から9ヶ月が過ぎました。プーチン大統領による核の威嚇が続いており、「核抑止論」が全く意味をなさず、核の脅威が現実のものとなっています。2022年10月19・20日広島市において、第10回平和首長会議総会が開催されています。清元市長は、初めてこの総会に出席されています。そこで、3点質問します。**①** 総会へ初めて市長として出席しての感想について **②** 平和首長会議40周年を記念してのヒロシマアピールについて **③** 平和首長会議国内加盟都市会議総会に応募した経緯について

**答弁:** 来年度の国内加盟都市会議総会の本市開催を契機に、より積極的に本市から平和のメッセージを発信したいと強く思っています。日本政府に核兵器の廃絶を求める署名については、前向きに検討したい。

### 所得制限を撤廃し、 高校卒業までのこども医療費無料化を

**谷川議員:** 姫路市は、2015年7月より、乳幼児等・こども医療費助成制度がスタートしています。しかし、残念ながら所得制限があるため約15%のこどもたちに窓口負担があります。今、多くの自治体が所得制限を無くし、高校卒業までの医療費無料化を実施しています。本市としても、子育て支援の観点から所得制限を撤廃し、高校卒業までの医療費無料化を実施すべきと考えます。そのための財源は、十分あります。

**答弁:** 出来るだけ早い時期に実施したい。財政シミュレーションなど考慮しながら少子化対策、子育て支援に係る事業全体から、総合的に判断ていきたい。

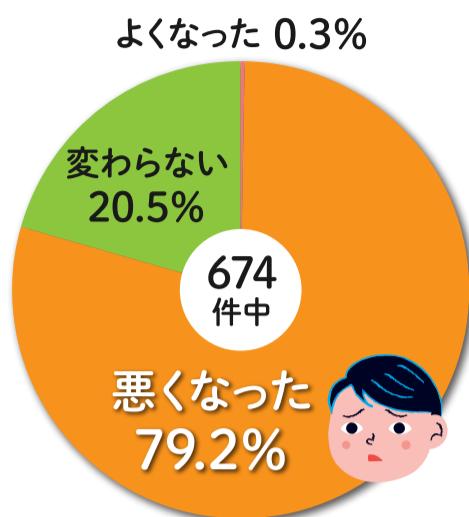
### 史上最悪の介護保険制度改定を 許さないこと

**谷川議員:** 介護保険制度は、現在2024年の改定に向けて、議論が行われています。最大の問題点は、介護サービス利用料の負担増です。原則1割負担を2倍にしようとしています。また、要介護1、2の訪問介護と通所介護を「総合事業」に移行するとしています。10月からは、後期高齢者の窓口負担が2倍になる方もおられます。年金の削減、物価高騰と、高齢者は生きづらさを感じるばかりです。自治体としても、国に声を上げていくべきではありませんか。

**答弁:** 改正案が実情にそぐわない、介護の社会化などの理念を損ねるような場合は、全国市長会等を通じて意見、要望を提出していく。

ための条例です。それによって、自治体の保有する膨大な情報をオープンデータ化して企業の利益のために活用できるようにしようとするものです。個人情報の漏洩事件は、最近でも相次いでいます。さらに、特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例について、及び姫路市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について、どちらも一時金の引上げのため、反対しました。

# 「住民アンケート」へのご協力ありがとうございました



## 物価高騰・コロナ禍で暮らし向きはいかかですか？

悪くなつたとお答えの方上位3位

- 1位 国民健康保険料や介護保険料などの負担が重い
- 2位 給料または年金が減った
- 3位 消費税や住民税などの負担が増えた



79.2%の人たちが「悪くなつた」と答えており、その一番の原因是、国保料や介護保険料などの負担が重いと答えています。日本共産党は、国保料引き下げのため、①国庫負担割合の増額②高校生までの「均等割」の廃止を求めています。また、消費税5%への減税も求めています。

## 2 子育て支援について何を望まれますか？

- 1位 学校給食の全員無償化
- 2位 高校卒業までの医療費無料化
- 3位 ひとり親家庭への支援拡充

小中学校とともに学校給食を完全無償化している自治体は、2022年12月現在で256自治体に広がっています。子育て支援策として、給食費の完全無償化、高校卒業までのこども医療費完全無料化を求めていきます。

## 3 福祉の充実に何を望されますか？

- 1位 介護保険料の引き下げや利用料の負担軽減
- 2位 国民健康保険料の引き下げ
- 3位 ひとり暮らし高齢者への支援強化



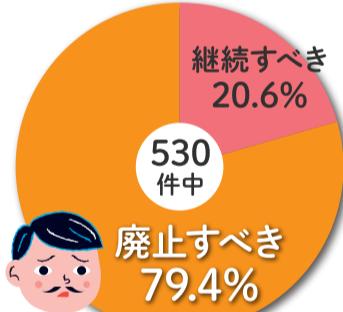
年金が減額され、物価高騰の中、介護保険料・国保料の負担が重く、暮らしがたいへんという声が多く寄せられました。

## 4 今後取組を強めてほしい施策は何ですか？

- 1位 救急医療体制の充実
- 2位 公共交通網の充実
- 3位 商店街・中小企業の振興

コロナ禍の中で、救急医療体制の充実は、切実な要求となっています。また、高齢化が進む中で公共交通網の充実も強く求められています。

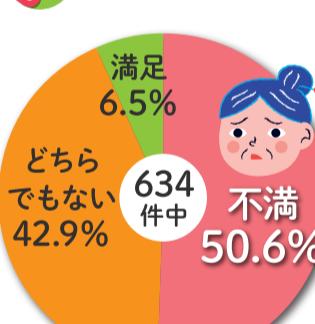
## 5 大企業誘致のために多額の税金をつかうことについてどう思われますか？



79.4%の方が「廃止すべき」と答えています。私たちの大切な税金は、過去最高の内部留保を抱えている大企業ではなく、市民の暮らし応援にこそ使うべきです。



## 6 今の姫路市政をどう思われますか？



市の中心部は良くなっているが、郊外は不便なことが多い。  
子育てについて、近隣の市より劣っている。  
若い力が發揮できるまちであって欲しい。

以上のような声がありました。  
赤ちゃんから高齢者まで安心して暮らせる市政に変えていきます。

## 市立3高校の統廃合計画の現状と問題点



姫路市立3高校の統廃合計画については、昨年度末に、姫路市が設置した市立高等学校在り方審議会が「3高校を新設も視野に1学年10学級程度の1校にするとの提言」を答申しました。これを受け、市教委内部で検討していましたが、昨年第3回定例会本会議において清元市長は「中央卸売市場移転跡地に統合した市立高校を新設することを検討している」と答弁し、驚きと疑問の声が上がったところであります。しかし、中央卸売市場用地は6割以上が

民有地で所有者も数十人に上ることなどから、用地買収をはじめ整備等に相当の期間を要すると考えられています。

昨年12月9日の本会議で、教育長は、「この度、現在の市立3校体制を見直し、統合校1校を新設する『姫路市立高等学校在り方方針（案）』を作成した」と答弁しました。その内容は、市場跡地が最適と検討を進めているが、2026年度に一旦、現在の姫路高校の校地で、新しい高校として統廃合するとしています。1月

20日まで、パブリック・コメントを実施し、新設校の学科や教育カリキュラムなど最終的な方針を2月中旬に決定をする予定となっています。

市立3校はそれぞれ伝統校で、地域に根差した特色ある教育を進めています。2025年度には姫路市内では網干、家島、夢前の3県立高校が廃校となる計画が進められている中で、議員団は市民の皆様の声を集めて、市立3高校の拙速な統廃合の中止を求めていきます。

力を合わせ頑張ります

谷川まゆみ  
●厚生委員会

苦瓜かずしげ  
●文教・子育て委員会

村原もりやす  
●総務委員会 副委員長 ●議会運営委員会  
●くれさか環境事務組合議会議員